

オンライン懇談会 保護者の皆様からお寄せいただきました質問への回答

カテゴリー	質問	回答
授業	オンライン授業で対面と同じような質の授業が受けられているのか。	<p>広島大学では授業改善を目的として各タームごとに授業改善アンケートを実施しており、約80%の学生がオンライン授業を「対面授業と同等以上」と回答しています。「授業動画を繰り返し視聴し、理解が追い付かない部分の復習ができた」「自分の都合に合った時間に受講できた」「オンライン授業の方がコメントや挙手がしやすいと感じた」といった声が寄せられました。一方で、質問や発言などにより授業に積極的に参加した学生の割合は、コロナ禍前より減っていることがアンケート結果から伺えました。対面／オンラインに関わらず、学生を主体的な学びに導き自律的に学習を進めていくことを促すことの必要性を感じており、教員間でオンライン授業のノウハウを共有したりすることで、改善を図っています。</p> <p>これからの大学教育には、対面かオンラインかの二者択一ではなく、授業ごとの内容や特性に応じて、それぞれの良さを生かした授業が求められます。今後は動画の視聴による予習を前提に、対面でディスカッションやグループワークを行う「反転授業」なども積極的に取り入れ、教育効果を一層高めていきたいと思っております。</p>
授業	大学としての授業にかかるコロナ対策の取組を知りたい。	<p>○対面授業の際は、基本的な感染対策に加え、以下のような対策を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者数は講義室の収容定員の半数以下までとする。</li> <li>・資料等を配布する場合は、入口に置いて各自で取るよう指示し、さらに感染拡大防止のため「余計なところを触らない」「一度触ったものは戻さない」ように指導する。または、オンラインで学生に事前送付し、学生がPCにファイルをダウンロードあるいは各自で印刷できる環境にしておく。</li> <li>○二酸化炭素濃度測定器の導入：二酸化炭素濃度を常時測定し、設定値を超えた場合アラームが鳴動し、窓開け換気を促します。</li> <li>○QRコードによる入退室管理：オンライン授業、自習や食事等の目的（対面授業以外）で講義室等を利用する場合の入退室記録を取っています。この記録は感染者が確認されたときのみ利用します。</li> <li>○Wi-Fiフィルターの無償貸出：自宅にネットワーク環境がない学生に対して大学からWi-Fiフィルター（30GB/月）を貸し出しています。</li> <li>○フェイスシールドの配布：大学から希望する学生や教職員にフェイスシールドを配布しています。</li> <li>○3密の回避：不織布マスクの着用、手洗い、消毒、換気の徹底</li> <li>○体調不良（発熱や咳等の症状）のため授業担当教員にメール等で連絡の上で欠席した場合は、課題やレポートによる指導等の代替措置により、欠席扱いとならないように対応しています。</li> <li>○新型コロナウイルスワクチンの接種：東広島市と共同で、6/21（月）から本学の学生・教職員へのワクチン接種を実施します。接種は、希望者の予約制で、1日あたり土・日は2,500人、平日1,100人の接種を見込んでいます。6/15（火）12：00から学生の予約受付を開始しています</li> <li>○「知を鍛える-広大名講義100選-」の公開：広島大学の「知」を通じて、さまざまなことに興味を持ってもらえるよう、テーマ別のミニ講義動画を公式ウェブサイトで公開しています。</li> </ul>
授業	学部・大学院別のオンライン授業と対面授業の割合は？ ⇒1T（緊急事態宣言前）の割合 ⇒1T（緊急事態宣言後）の割合	<p>○緊急事態宣言の発令により、授業は実験・実習等を除き、原則としてオンラインで実施となりました。以下の1T（緊急事態宣言後）の「対面」は、実験・実習等の科目の割合を示しています。</p> <p>○「対面」にはオンラインとの併用も含まれます。</p> <p>（学部） 1T（緊急事態宣言前）：オンライン11％、対面89％ 1T（緊急事態宣言後）：オンライン74％、対面26％</p> <p>（大学院） 1T（緊急事態宣言前）：オンライン8％、対面92％ 1T（緊急事態宣言後）：オンライン91％、対面9％</p>
授業	教養教育におけるオンライン授業と対面授業の割合は？ ⇒1T（緊急事態宣言前）の割合 ⇒1T（緊急事態宣言後）の割合	<p>○教養教育科目においては、外国語科目（英語・初修外国語）は感染症対策に伴う講義室定員の見直しに伴い、少人数の講義室が使用できないことによる講義室不足のため、基本的にすべてオンラインで実施しています。</p> <p>○「対面」にはオンラインとの併用も含まれます。</p> <p>1T（緊急事態宣言前）：オンライン68％、対面32％ 1T（緊急事態宣言後）：オンライン91％、対面9％</p>
授業	コロナ禍における授業の実施方針（オンライン授業と対面授業の棲み分けの考え方）は？	<p>2021年4月からの授業は対面での実施を原則としており、例えば、初年次における大学生活や学修への動機付けの重要性を踏まえて、特に教養教育科目や教養ゼミ、1年次生対象の専門教育科目については優先して対面で実施することとしました。上級生についても、研究指導の要素を含む科目（論文指導・ゼミ等）は原則として対面で実施することとしています。</p> <p>また、対面授業の実施においては、各科目の特性や内容に応じて、ハイブリッド方式（対面授業・オンライン授業の併用）とするなど、それぞれの特長を活かした授業を実施しています。ハイブリッド方式には、例えば以下のような形態があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス内で行われる対面授業に、オンライン（リアルタイム）で数名の受講生が参加</li> <li>・対面授業の映像・音声をリアルタイムで他の教室等にオンライン配信</li> <li>・対面授業の映像・音声を記録し、オンデマンドで配信</li> <li>・各回の実施内容により、対面授業とオンライン授業のどちらかを実施</li> <li>・受講者を2グループに分け、隔週で対面授業に参加</li> </ul> <p>5月16日から広島県に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、原則として授業はオンラインとし、対面でないと教育効果が得られない実験・実習科目のみ対面で実施しています。</p>
授業	コロナ禍における期末試験の実施方法（オンラインでの試験実施方法、対面での試験実施方法・感染防止対策など）は？	<p>オンラインで期末試験を実施する場合の方法の例として、以下のような形態があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論述問題の解答をレポート形式で作成させ、試験終了後にメール等で提出。</li> <li>・ 論述問題の解答をオンライン上のフォームに直接入力させ、試験終了後に送信。</li> <li>・ 択一式の問題を出題し、制限時間内に解答（入力）。</li> <li>・ 論述問題の解答を制限時間内に手書きで作成させ、試験終了後、答案を携帯電話で撮影し、メール等で提出。</li> </ul> <p>対面で試験を実施する場合は、以下のような感染防止対策を徹底しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 座席の間隔が十分にとれるよう、広い講義室を使用。</li> <li>・ 試験開始前から教室の換気を十分に行う。</li> <li>・ 入室時の手指消毒を徹底。</li> <li>・ 問題用紙等は、入口で学生に取らせるか、監督者が1人ずつに直接配布。（前後の学生間での手渡しは行わない。）</li> <li>・ 試験終了後は静かに退出させ、教室周辺で集まらないよう指導。</li> <li>・ 体調不良・感染不安等で受験できない学生の不利益にならないよう配慮。（予め代替措置について学生へ知らせておき、無理して受験することのないようにし、万が一体調不良の学生が来た場合は代替措置の対応を説明した上で帰宅いただく。）</li> </ul>

カテゴリー	質問	回答
授業	オンライン授業はどのように工夫しているか知りたい。	<p>○学生の出欠や理解度を確認するため、学内のオンライン学習システム等のツールを積極的に活用し、学生からの質問に適切に対応できる体制を整備しています。</p> <p>○以下はオンライン授業の中で行われた工夫・実践例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にオンデマンド動画を配信し、授業の開始時には同時双方向型で、前回の復習や小テストの解説を行った。</li> <li>・Microsoft Teams のチャンネルを使ってグループディスカッションを実施した後、各グループの担当者に発表（報告）をしてもらい、全体で共有した。</li> <li>・授業後のコメントシートとは別に、授業中に質問を投げかけ、Microsoft Teams のチャット機能で全員に回答してもらった。</li> <li>・予め収録していたオンデマンド動画だけでなく、同時双方向型で、各回の授業に対する学生からの質問に回答するとともに、学生とのディスカッションを実施する回を設けた。</li> <li>・課題に対する学習の成果をオンラインで発表し、学生同士の議論や教員からのアドバイスを受けて最終レポートを作成させた。</li> </ul>
留学	コロナ禍で制限がかかる中、留学の現状と今後どのようなプログラムや方法があるのか（現状ではオンラインのみか）。	<p>【現段階の状況】</p> <p>「STARTプログラム」などの渡航を伴う派遣・留学プログラムの再開については、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的な影響、日本政府の決定及び派遣先国・派遣先等の状況等を鑑みながら判断する予定です。</p> <p>一方で、渡航ができない状況であっても、2020年度後期にオンラインを用いた海外大学の教員・学生との教育交流プログラム「e-STARTプログラム」を新設するなど、学生に対しては国際交流の機会を積極的に提供するように進めております。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>実際に現地へ行き、現地で学修・異文化体験をすることは極めて重要であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、日本政府の決定や派遣先国・派遣先等の状況等を鑑みた上で、学生を安全に海外に派遣できる状況になれば、渡航を伴う派遣・留学プログラムを再開する予定です。併せて、コロナ禍で得たオンラインを用いた国際交流のノウハウについても引き続き活用し、実渡航と組み合わせることで、より質の高い国際教育プログラムの提供を通じて、グローバル人材の育成を進めていきたいと考えています。</p>
留学	オンライン留学の成果は？	2020年度後期に新設の上、試行的に実施した「e-STARTプログラム」（7コースで計61名の本学学生が参加）に参加した学生を対象に実施したアンケートへの回答によると、英語運用能力（特にプレゼンテーション能力）の向上につながったという好意的な意見が多く出されています。また、海外渡航を伴わない、オンライン形式で海外大学の教員・学生との交流を持てることに対しても、「敷居が低く、参加がしやすかった」「参加費が無料であったため、参加が可能になった」「オンラインではあるものの、異なる環境の学生との交流・ディスカッションを通じて、視野を広げることができた」という好意的な意見が多くなっています。
留学	STARTプログラムについて1年次で行けない場合、次年度以降の参加は難しいのか。	2021年度以降に実施するSTARTプログラムは、学部1から3年次生を対象に参加学生の募集を行う予定としております。（ただし、2021年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施及び学生募集を中止しました。2021年度後期以降実施分についても、引き続き感染状況等に基づき、実施の可否判断を行う予定です。）
課外活動	部活やサークルに入るための、情報入手方法を教えてください。	<p>「もみじ 広島大学 学生情報の森 MOMIJI」は学外からでも閲覧可能です。</p> <p>「課外活動支援」のページに届出団体一覧を掲載しています。</p> <p>一覧から各団体のウェブサイトへリンクしています。</p> <p>学生団体の結成・更新について</p> <p><a href="https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/circle.html">https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/circle.html</a></p>
課外活動	課外活動に対する感染症予防対策としてどのような指導を行っているのか？	各団体がそれぞれの活動内容に応じた安全対応、練習計画、活動の制限などを盛り込んだ「課外活動指針」を作成しています。活動前、活動後、公式大会等への参加などは、顧問教職員又は代表責任者が予防対策を確認しています。
課外活動	コロナ禍でのこれまでの課外活動の状況は？	5月17日から広島大学の行動指針のレベルを「レベル2」（要警戒・中程度の活動制限）としており、課外活動は全面活動禁止です。緊急事態宣言が発出されている期間については、すべての団体の課外活動を中止し、公式戦等への参加を禁止しています。
課外活動	課外活動にかかる活動再開の具体的な基準は？	レベル1.5(要注意)(一定程度の活動制限)へ引き下げられたら、感染防止行動が遵守されていることを確認した上で、段階的に活動を再開します。活動再開には、「課外活動計画書」と「活動指針」を構成員が遵守するよう説明しています。
就職・進学	コロナ禍前とコロナ禍での就職・進学状況の変化を教えてください。（学部・大学院）	<p>【コロナ禍前とコロナ禍での就職・進学状況の変化についての回答】</p> <p>昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本学学生をとりまく就職活動の環境にも大きな変化がありました。自己分析・企業研究等を早い段階で始めて準備していた学生ほど、スムーズにコロナ禍の選考活動に対応できたようです。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年よりも緩やかなペースで採用選考が進みつつ、例年と同様の内定率に上昇し、本学学生の就職・進学状況に大きな変動は見られなかったようです。</p> <p>また、昨年を踏まえ、今年は、状況・目的に応じて、企業の採用選考活動においてオンラインと対面の使い分けが徐々に浸透してきているようです。今年の特徴として、就活の早期化が挙げられます。各就職情報サイトの調査によると、4月1日時点での全国の内定率は、過去最高のおよそ4割となっています。学部3年生の6月から、事実上の採用選考活動が始まっています。</p> <p>昨年は、グローバルキャリアデザインセンター主催のガイダンス等はすべてオンラインで開催し、学生用ポータルサイト「Myもみじ」の「進路・就職揭示」を通じて学生へ情報提供を行いました。また、スカイプやMicrosoftTeamsを通じてオンラインで個別キャリア相談を続けました。</p> <p>今年も、引き続き、オンラインに対応しながら、広島大学生にキャリア形成を考える機会を提供しています。</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターでは、昨年、学部2年生向けの就職情報冊子を作成・配付するとともに、2年生向け就職セミナーを3回開催しました。今年は、学生ニーズに対応し、例年10月～11月頃に開催していたガイダンスを4月～5月頃と早い時期での開催に変更しました。併せて、若手OB・OG情報についても、「広島大学OB・OG取材」サイトを立ち上げ、学生への提供コンテンツを増やしています。</p> <p>引き続きガイダンス・セミナー等を開催していきますので、学生用ポータルサイト「Myもみじ」の「進路・就職揭示」をよく確認し、学部1年生・2年生から積極的に活用してください。</p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。学部1年生・2年生からでも、ぜひ活用して、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>（キャリア相談予約方法）<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ</a>&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターでは、学生へ「就活ハンドブック」を配布しています。就活ハンドブックP57に、「最近の就職環境」として、COVID-19による環境変化、早期化する採用活動等について掲載しています。ぜひ入手して、就職活動にご活用ください。</p>
就職・進学	地方ごとの主な就職先を教えてください。（学部・大学院）	<p>【各都道府県別の就職先等についての回答】</p> <p>都道府県別就職状況は、毎年度、以下広島大学ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひ就職活動にご活用ください。</p> <p><a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/about/employment_report">広島大学Home&gt;大学案内&gt;大学概要&gt;就職状況</a></p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。もしUターンでの就職活動に迷われることがありましたら、学部1年生・2年生からでも相談可能ですので、ぜひ活用し、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>（キャリア相談予約方法）<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ</a>&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談</p>

カテゴリー	質問	回答
就職・進学	コロナ禍でのインターンシップ等の就職活動状況を教えてください。(学部・大学院)	<p>【就職活動状況についての回答】</p> <p>今年の特徴として、就活の早期化が挙げられます。学部3年生の6月から、事実上の採用選考活動が始まっています。インターンシップ(オンライン実施を含む)等の機会を活用して、早い段階から準備を進めてください。</p> <p>昨年度はCOVID-19の影響で各企業・官公庁・団体等のインターンシップ実施は減少しましたが、感染拡大の恐れとオンライン化への準備不足が影響したようです。今年度については、オンラインへの対応がかなり進んだようで、対面は少ないものの、企業等からは、インターンシップの実施に関して、大学への問い合わせが増えています。</p> <p>【(参考)大学経由インターンシップの参加件数について】</p> <p>2018年度：212件 2019年度：247件 2020年度：116件</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターでは、以下センターウェブサイトにてインターンシップの情報をまとめています。また、インターンシップ合同企業説明会についても随時情報を掲載しています。ぜひ就職活動にご活用ください。</p> <p>広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;インターンシップ <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/internship">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/internship</a></p> <p>広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;業界・合同説明会・セミナー(学外) <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/gosetsu">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/gosetsu</a></p> <p>学生に配付する就活ハンドブックP120～124にも、「インターンシップ(就業体験)」のページを掲載しています。ぜひ入手して、就職活動にご活用ください。</p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。学部1年生・2年生からでも、ぜひ活用して、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>(キャリア相談予約方法) 広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation</a></p>
就職・進学	コロナ禍での就職活動スケジュールについて、就職か進学かを決める時期を含めてを教えてください。(学部・大学院)	<p>【就職活動スケジュールについての回答】</p> <p>今年の特徴として、就活の早期化が挙げられます。学部3年生の6月から、事実上の採用選考活動が始まっています。それを考慮して、就職か進学か決めておけば良いと思います。</p> <p>中には、3年生の年明けくらいまで就職活動をして、そこから大学院入学試験に集中するという学生もいました。</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターでは、昨年、学部2年生の就職情報冊子を作成・配付するとともに、2年生向け就職セミナーを3回開催しました。今年は、学生ニーズに対応し、例年10月～11月頃に開催していたガイダンスを4月～5月頃と早い時期での開催に変更しました。併せて、若手OB・OG情報についても、「広島大学OB・OG取材」サイトを立ち上げ、学生への提供コンテンツを増やしています。</p> <p>引き続きガイダンス・セミナー等を開催していきますので、学生用ポータルサイト「Myもみじ」の「進路・就職掲示」をよく確認し、学部1年生・2年生から積極的に活用してください。</p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。学部1年生・2年生からでも、ぜひ活用して、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>(キャリア相談予約方法) 広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation</a></p>
就職・進学	大学が行っている就職支援について教えてください。(学部・大学院)	<p>【広島大学グローバルキャリアデザインセンターでの支援内容についての回答】</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターの支援内容は、以下ウェブサイトに掲載しています。</p> <p>グローバルキャリアデザインセンターHP：<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc</a></p> <p>センターの主な支援内容は、以下のとおりです。</p> <p>また、各学部・研究科の就職支援についても、以下ページにまとめていますので、ご参考ください。</p> <p>広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;学部・研究科の就職支援 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/faculty">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/faculty</a></p> <p>(センターの主な支援内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①就職ガイダンス、セミナーの実施(学部～大学院生いずれも参加可能)</li> <li>②就活支援ツアー(東京・大阪)の実施(※コロナの影響によりオンライン卒業生セミナーに変更して開催)</li> <li>③就活ハンドブックの配布</li> <li>④キャリア相談・就職相談</li> <li>⑤学生情報の森「もみじ」の進路・就職システムによる支援</li> <li>⑥東京オフィスでの就活支援</li> <li>⑦教養教育科目「大学教育入門」(学部生必修科目)の中で1コマを担当</li> <li>⑧教養ゼミ等でのキャリアガイダンスの実施</li> <li>⑨キャリア教育科目の開講</li> <li>⑩インターンシップの実施(事前・事後指導含む)</li> <li>⑪大学運営支援業務の紹介</li> </ol> <p>引き続きガイダンス・セミナー等も開催していきますので、学生用ポータルサイト「Myもみじ」の「進路・就職掲示」をよく確認し、学部1年生・2年生から積極的に活用してください。</p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。学部1年生・2年生からでも、ぜひ活用して、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>(キャリア相談予約方法) 広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation</a></p>
就職・進学	公務員を希望する場合、どのようなスケジュールでどのような準備をすればよいでしょうか。(学部・大学院)	<p>【就職活動スケジュールについての回答】</p> <p>3年生の春から広島大学生協の公務員講座を利用する学生が多くいます。公務員試験の受験を決めたら、まずは試験に関する情報を入手しましょう。</p> <p>試験実施機関に問い合わせ受検申込書を早めに取り寄せて準備をしておくといでしょう。出願から公務員になるまでの流れは、グローバルキャリアデザインセンターで配布している「就活ハンドブック」P106～P109に、詳しく掲載しています。ぜひ入手して、就職活動にご活用ください。</p> <p>グローバルキャリアデザインセンター主催のガイダンス・セミナー等は、就活生のみが対象ではありません。自己PR文や志望動機文に関するガイダンス・セミナー等も開催していますので、学生用ポータルサイト「Myもみじ」の「進路・就職掲示」をよく確認し、ぜひ低年次の学生も参加して、状況や傾向を把握することに努めてほしいと思います。</p> <p>また、グローバルキャリアデザインセンターでは、個別のキャリア相談を行っています。学部1年生・2年生からでも相談可能ですので、ぜひ活用し、早い段階から準備を行ってください。</p> <p>(キャリア相談予約方法) 広島大学グローバルキャリアデザインセンタートップページ&gt;学生の皆さんへ&gt;キャリア相談 <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/consultation</a></p>
奨学金	奨学金の申し込み方法はどちらがよいですか。	<p>学生向けポータル情報サイト学生情報の森「もみじ」にて随時各種奨学金の情報を更新していますので、申し込みの時期・方法等適宜ご確認の上、申請してください。</p> <p>奨学金の種類としては、本学独自の奨学金制度として、学部受験予定の方を対象とした「フェニックス奨学金制度」(学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学が困難な学生を支援)、学部生(申し込みは2年次生の時のみ)を対象とした「光り輝く奨学金制度」(人物及び学業成績が優秀でありながら経済的に困窮している学生を支援)があります。そのほかに日本学生支援機構(旧日本育英会)による奨学金や民間及び地方公共団体の奨学金も各種あり、学業成績が優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学に困難があると認められる学部生や大学院生を対象に、選考の上、奨学金の貸与や給付が行われています。</p>

カテゴリー	質問	回答
アクセシビリティ	アクセシビリティセンターでの活動（支援内容）について知りたい。	<p>アクセシビリティセンターでは、学生の希望に基づき修学上の障壁の所在や合理的な配慮・支援・調整の内容に関するアセスメントを行い、支援制度の利用に関する助言と申請書類や配慮依頼文書等の発行を行っています。また学部・研究科・専攻科が合理的な配慮・支援・調整を円滑に行えるように、支援リソースの提供・手配を行っています。</p> <p>アクセシビリティセンターで提供している支援内容には、次のようなものがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教材支援（電子データ化、点訳、字幕、等）</li> <li>2. 情報支援（ノートテイク、筆記通訳、スケジュール管理支援、コミュニケーション支援、等）</li> <li>3. 学内介助（移動、手続き、食事、トイレ、実験、等）</li> <li>4. 学習支援（自習支援、助言、等）</li> <li>5. 専門機関と連携した支援（就労移行支援事業所、市や県の支援センター、等）</li> </ol> <p>上記のような支援の他にも、アクセシビリティリーダー育成プログラム等の教育・人材育成や、アクセシビリティ推進に関する助言・提案等も行っていきます。</p>
アクセシビリティ	アクセシビリティセンターでの支援を必要とする学生数推移と支援内容の状況変化について知りたい。	<p>身体等に障害があり、所属学部・研究科・専攻科に支援申請をしている学生の数は年々増加しています。支援申請者数は、2016年度の50名から2020年度の111名と5年間で2.2倍に増加しています。障害種別では、発達障害、精神疾患のある学生の申請者数の増加が顕著です。</p> <p>支援内容については、学習支援、専門機関と連携した支援の需要が増加傾向にあります。教材支援、情報支援については、テクノロジーの進歩により、特殊な機材やアプリを使用しなくても対応できる場面が増えてきています。</p>
心のケア	コロナ禍におけるメンタル面に関する学生のケアの体制。	<p>保健管理センターでは、コロナ禍の影響についてより考慮しつつ、原則は対面による相談を継続し、帰省中の学生や保護者とは電話やオンラインで相談を受けています。教職員ともコロナ禍のメンタルヘルスについてよりいっそう支援を強化するよう連携をとっています。</p> <p>また、学生のためのなんでも相談窓口を設置しており、相談員に相談することができます。</p> <p>当該窓口でのコロナ禍において学生からの相談については、学生生活面（メンタル面）、修学面、課外活動面等、保護者・学生から様々な相談がありますが、質問・相談の内容に応じて関係部署と連携を図りながら対応しています。特に、学生のメンタル面については、状況に応じて保健管理センター（カウンセリング部門）・所属部局（指導教員も含め）等と連携しながら対応しています。</p>
その他	今年、改めて新2年生も対象に入学式を執り行った大学もあると聞くが、広島大学では検討されなかったのか。	<p>昨年度実施した種々の歓迎行事やガイダンス（学長や学部長の祝辞の配信、キャンパス・ミニツアー、秋季ガイダンスなど）に加えて入学式を実施する意義、教育的効果などについて考慮した結果、新2年生を対象とした入学式は実施しませんでした。</p>
その他	貴重な同級生や先輩方との繋がりを持てるよう、授業以外でも何か参加出来るような機会がないか。	<p>ピアサポートルームでは、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学部新入生に対しては、ピアサポーター（必要な研修を受けた大学生と大学院生の先輩たち）が、まず入学前の不安や心配事に対応する「入学前相談会」をオンラインで開催（3/19、20）しました。入学後には「新入生なんでも相談」を開催（4/6～4/14）し、新入生がアクセスしやすい場所に相談会場を設け、新生活への適応についての相談や、学内外の施設・資源の紹介、授業の履修登録方法についての相談などに対応しました。夏季休業中にも、もう一度「新入生なんでも相談」を実施することを計画しています。</li> <li>②大学院新入生に対しては、4月に「大学院新入生交流会」をオンラインで開催（4/23）しました。グループワークの形で研究や進路、日常生活などについて情報交換し、自分の研究室以外の大学院生との交流を深めることができました。また、かつて交流会に参加したことのある有志の大学院生も先輩院生として参加しており、先輩院生に質問や相談もできました。また、前期中に「第2回大学院新入生交流会」を開催する予定です。</li> <li>③上記イベント以外では、平日の昼休みと午後に、ピアサポーターが全学生を対象に対面とオンラインを併用して相談を受けており（5月11日～現在まではオンラインのみ）、大学生活全般に関する困りごとや気がかりなことを相談していただけるようになっています。学生同士の相互扶助という形ですので、利用する敷居が低く、気軽に利用できます。</li> <li>④周囲とのコミュニケーションをより良いものにしていただくために、コミュニケーションに関するセミナーを開催していく予定です。すでに申し込み受付を開始しているのは「傾聴セミナー」（6/26、7/3）です。日常生活でも使える、相手の話をしっかり丁寧に聴くスキルを学習していただく内容になっています。今後はコミュニケーションに苦手意識を持っている方を対象としたセミナーや、キャンパスライフにおけるストレス対処についての研修などの開催を計画しています。</li> </ol> <p>注：上記の活動は、公認心理師、臨床心理士資格を持つ専門アドバイザーの指導のもとで、定められた倫理規範を遵守して行っています。</p> <p>教育学習支援センターでは、 新入生や在学生在が大学での学修や生活上の悩みを気軽に話せる機会となるよう、センターの学生スタッフ（大学院生）が企画する「新入生懇話会」「広大生懇話会」を開催しています。2020年度は、11/17、11/18、12/21に、2021年度は4/22に開催しました。今後も学生スタッフが企画するイベントを継続的に行っていく予定です。</p>